

防災・減災意識高めたい

福井豪雨があった2004年、私はまだ2歳だった。当時のことについてはほとんど覚えていないが、この記事を見た時、当時の家の近所の被害状況を知る写真があったことを思い出した。電話ボックスの半分まで土砂がきていたり、家の前の道が川になっていたり、被害がとてつ大きかったと聞いている。それゆえに、九州豪雨は他人ごとに



みずの さあや
水野 佐綾さん(南越中3年)

思えなかった。

災害は起きてみないと分からないこともたくさんあるだろう。しかし、前例があるのならそれをもとに準備することも大切である。

そして、私自身ももっと災害に対する考えや備えに関心を持っていきたいと思う。「人ごとだと思わず、防災・減災の意識を高める」ということを忘れずにいたい。少しでも多くの人々が災害について関心を持ち、災害による被害が減ることを心から願う。

福井豪雨猛威忘れるな

記録映像ユーチューブで再発信

福井河川国道事務所

2004年の福井豪雨は、福井県内各地で甚大な被害をもたらした。その被害状況を記録した映像が、福井河川国道事務所のユーチューブチャンネルで再発信されている。この映像は、当時の豪雨による被害状況をリアルタイムで伝える貴重な資料であり、防災・減災意識を高めるための教材としても活用されている。映像には、土砂が家や道路を埋め尽くす様子や、倒壊した建物の様子が写っており、当時の被害の大きさを改めて実感できる。また、映像には、当時の住民の避難の様子や、救急隊の活動の様子も写っており、災害発生時の対応についても学ぶことができる。この映像は、防災・減災意識を高めるための貴重な資料であり、広く活用されることを期待されている。

防災・減災に意識を

福井河川国道事務所は、2004年の福井豪雨の被害状況を記録した映像を、ユーチューブチャンネルで再発信している。この映像は、当時の豪雨による被害状況をリアルタイムで伝える貴重な資料であり、防災・減災意識を高めるための教材としても活用されている。映像には、土砂が家や道路を埋め尽くす様子や、倒壊した建物の様子が写っており、当時の被害の大きさを改めて実感できる。また、映像には、当時の住民の避難の様子や、救急隊の活動の様子も写っており、災害発生時の対応についても学ぶことができる。この映像は、防災・減災意識を高めるための貴重な資料であり、広く活用されることを期待されている。

